

1 総 括

1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、センターの役割は、県内企業の技術開発・技術力向上を支援する中核機関として、工業技術の高度化、先端化がますます強く要請されている。このため、県内企業の「技術的掘りどころ」としての機能を果たしていくためには、エレクトロニクスや新素材、バイオテクノロジー等の先端技術に関する研究開発をはじめ、地域産業のものづくり技術の高度化、地域資源の高度利用のほか、新事業の創出や新分野への進出につながる研究開発に取り組むとともに、大学等研究機関や企業との産学官連携による共同研究等を推進し、新時代へ対応した新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、J D r e a mⅢなど技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、メール配信サービス「K I T - e n e w s」等地域企業への情報提供業務を行うとともに、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R & D支援センター」や、「システム技術開発センター」などの利用を通して、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

1-2 組織と業務

庶務部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

企画支援部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。
- (4) 工業デザイン及び工芸品の開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (5) 工業デザイン及び工芸品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

食品・化学部

- (1) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

生産技術部

- (1) 機械工業、電子工業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械工業、電子工業及び金属工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験、検査測定及び加工に関すること。

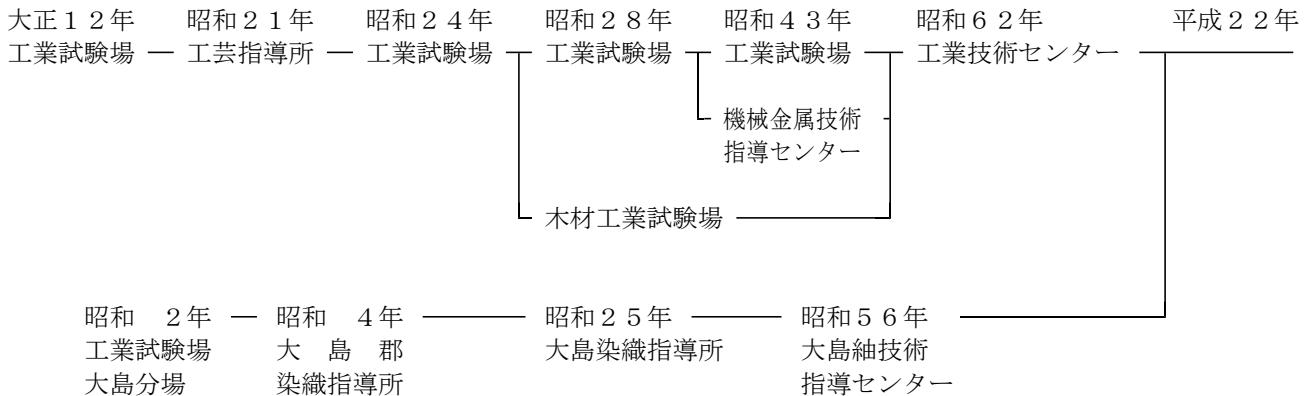
地域資源部

- (1) 木材、竹材等の地域資源の試験研究、調査及び技術指導に関すること（他部の所管に属するものを除く）。
- (2) 木材、竹材等の地域資源に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること（他部の所管に属するものを除く）。
- (3) シラスの試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (4) シラスに関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

（シラス研究開発室）

地域資源部の項の第3号及び第4号に掲げる事務を分掌する。

1-3 沿革

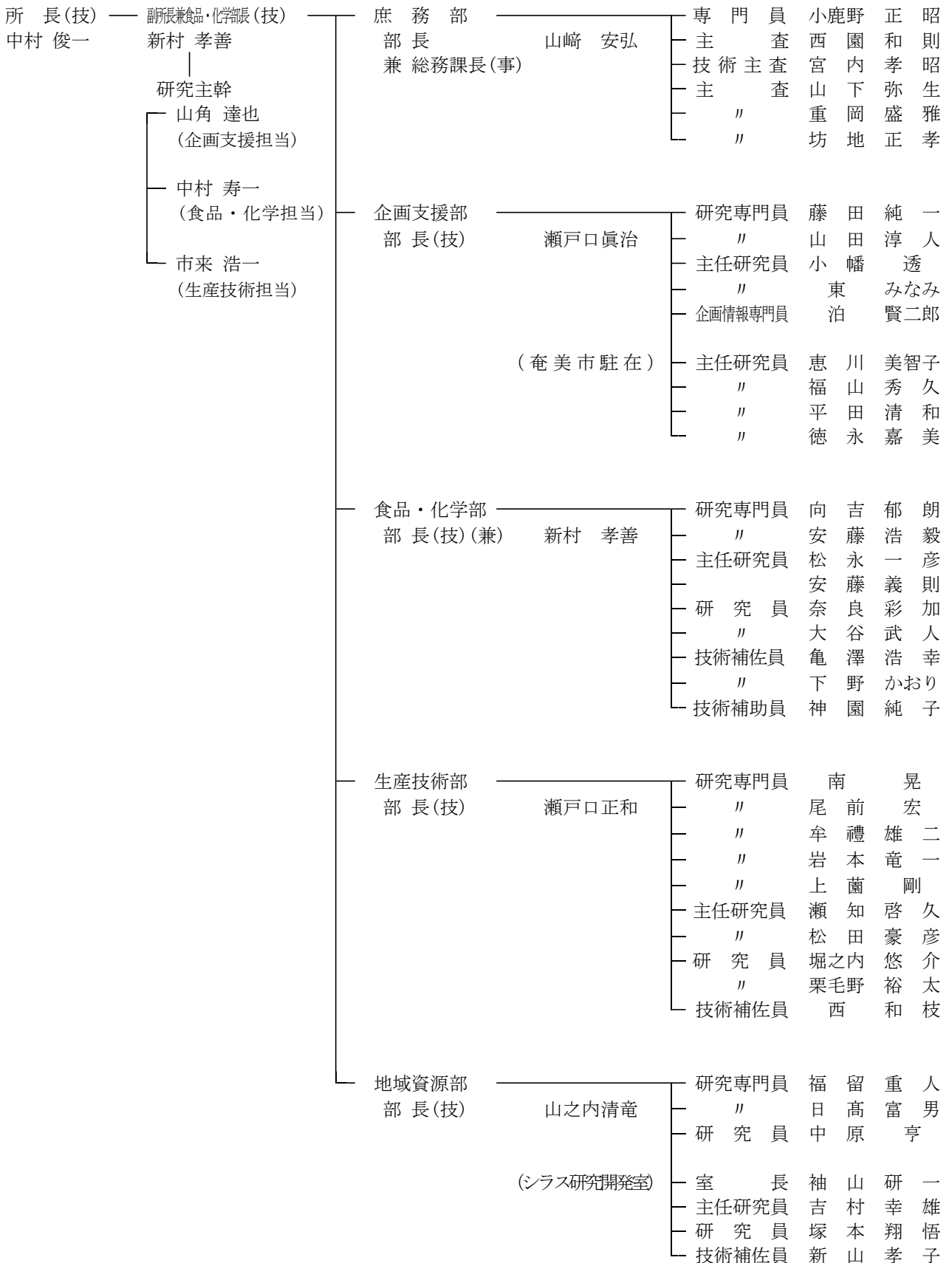


- 大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し、染色、機織の2部を設置
- 昭和2年 4月 工業試験場大島分場を設置し、庶務、図案、原料、染織の4部で発足
- 昭和4年 6月 鹿児島市原良町に移転
- 昭和4年11月 原料糸検査、醸造、玉糸製糸、撚糸、図案の各部を増設
- 昭和15年 4月 工業試験場大島分場を大島郡染織指導所と改称し、庶務、原料、染織、図案の4部に改編
- 昭和17年 1月 窯業部を増設
- 昭和21年 4月 木工、化学部を増設
- 昭和21年12月 工業試験場に木工養成所を併設
- 昭和23年 1月 工芸指導所と改称し、庶務、化学、窯業及び工芸振興の4部に改編
- 昭和24年 4月 竹工部を増設
- 昭和25年 6月 工業試験場と改称し、庶務、化学、及び工芸（木工、竹工、窯業）に改編
- 昭和26年 4月 大島郡染織指導所を大島染織指導所と改称
- 昭和27年 4月 発酵工業部を新設
- 昭和28年 4月 工芸部より木竹工部を分離・新設、揖宿郡指宿町（現 指宿市）に指宿分場を設置
- 昭和28年12月 大島染織指導所は琉球政府経済局の所管へ
- 昭和34年11月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
- 昭和38年 6月 日本へ復帰、鹿児島県大島染織指導所へ
- 昭和39年 4月 鹿児島市武町に移転
- 昭和43年 2月 指宿分場を廃止
- 昭和43年 8月 工芸部を窯業部に改め、化学部に機械金属班を設置
- 昭和48年 3月 工業試験場の新庁舎竣工
- 昭和56年 4月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
- 昭和62年12月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
- 平成8年 4月 大島染織指導所を大島紬技術指導センターと改称するとともに総務課、機織研究室、図案研究室、染色化学研究室内の1課、3室体制とする。
- 平成9年 3月 工業試験場、機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し、現住所に工業技術センターを設立、庶務、企画情報（室）、デザイン開発（室）、食品工業、化学、窯業、機械金属、電子、木材工業の2室7部に改編
- 平成9年12月 組織改編により庶務、企画情報、デザイン・工芸、食品工業、化学、素材開発、機械技術、電子、木材工業の9部制発足
- 平成10年 7月 知的所有権センター開所
- 平成13年 4月 システム技術開発センター開所
- 平成22年 4月 R&D支援センター開所
- 平成23年 4月 化学部を化学・環境部に改編
- 平成26年 4月 大島紬技術指導センターを統合し、大島紬部を設置
- 組織改編により、庶務部、企画支援部、食品・化学部、生産技術部、地域資源部、シラス研究開発室、大島紬部の6部1室に改編
- 大島紬部を廃止、奄美市駐在とし、5部1室に改編

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成27年4月1日現在)



1-4-2 職員現況表

(平成27年4月1日現在)

区分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備考
庶務部	6	3		9		所長, 副所長を含む
企画支援部		6		6	1	主幹を含む
(奄美市駐在)		4		4		
食品・化学部		7	2	9	1	主幹を含む, 兼務は含まず
生産技術部		11	1	12		主幹を含む
地域資源部		4		4		
シラス研究開発室		3	1	4		
計	6	38	4	48	2	

1-4-3 人事異動

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

発令年月日	氏名	新任	旧任	備考	
H27. 4. 1	新村 孝善	副所長兼食品・化学部長	産業立地課参事	転入	
	山崎 安弘	庶務部長兼総務課長	砂防課課長補佐		
	小幡 透	企画支援部主任研究員	産業立地課技術主査	再任用	
	重岡 盛雅	庶務部主査	庶務部主査		
	坊地 正孝	庶務部主査	農業開発総合センター大隅支場		
	平田 清和	企画支援部主任研究員	企画支援部主任研究員		
	福山 秀久	〃	〃		
	恵川 美智子	〃	〃		
	徳永 嘉美	〃	〃		
	中村 俊一	所長	副所長		所内異動
	山角 達也	研究主幹 (企画支援担当)	研究主幹 (地域資源担当)		
	中村 寿一	研究主幹 (食品・化学担当)	研究主幹 (企画支援担当)		
	瀬戸口 眞治	企画支援部長	食品・化学部長		
	南 晃	生産技術部研究専門員	企画支援部研究専門員	転出	
	西元 研了	産業立地課参事	企画支援部長		
	桑原田 聡	産業立地課技術主査	生産技術部主任研究員		
	栗毛野 裕太	生産技術部研究員		新規採用	
H28. 3. 31	中村 俊一		所長	退職	

1-5 規 模

1-5-1 土地・建物

土地面積 56,612.4 m² (霧島本庁舎 50,256.06m² 奄美分庁舎 6,356.34m²)
 建物延べ面積 19,099.73 m² (霧島本庁舎 16,664.99m² 奄美分庁舎 2,434.74m²)

区 分	面 積 (単位m ²)	内 訳		
		階別	面積(単位m ²)	備 考
霧 島 本 庁 舎	管 理 研 究 棟 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 下 1 階 地 上 3 階	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他
		1階	2,884.14	庶務部, 企画支援部, 会議室 研究員室, ショールーム 他
		2階	3,097.77	食品・化学部, 生産技術部, シラ ス研究開発室, 電子計算機室
		3階	2,540.82	企画支援部, 生産技術部, 地域資 源部, R&D支援センター
		棟屋	356.07	機械室
奄 美 分 庁 舎	実 験 棟	食品・化学実験棟	656.10	1階 656.10 食品・化学部
		窯業実験棟	951.35	1階 951.35 生産技術部, シラス研究開発室
	鉄 骨 造 平 屋 建	機械金属実験棟	1,640.25	1階 1,640.25 生産技術部
		木材工業実験棟	1,541.84	1階 1,541.84 企画支援部, 地域資源部
	システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1階 1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室
	そ の 他 付 属 棟	1,026.65		1,026.65 浄化槽機械室, 車庫, 官舎 他
奄 美 分 庁 舎	事 務 所 及 び 研 究 室 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 上 2 階	1階	1,499.26	職員室, 会議室, 展示ロビー 資料室, 機織試験室, 染色試験室 染色加工室 他
		2階	630.40	デザイン研究室, 開放試験室 機器分析室, 化学分析室, 暗室 機器計測室, 機器計測準備室 他
	ハイテク開放試験室 鉄 骨 造	164.32	1階 164.32	つむぎゆらおう塾
	そ の 他 付 属 棟	140.76		140.76 廃水処理施設, 実験用泥田

1-5-2 配置図



■霧島本庁舎



■奄美分庁舎

1-6 決算

1-6-1 歳入

執行状況

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	4,366,599	うち設備使用料4,366,599
	手数料	商工手数料	4,590,540	
	小計		8,957,139	
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	34,884	
		生産物売払収入	519,680	
		小計	554,564	
諸収入	雑収入	受託事業収入	22,262,588	
		その他収入	157,165	
		小計	22,419,753	
合	計		31,931,456	(本課受入分を含まず)

1-6-2 歳出

執行状況

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
農林水産業費	農業費	農業振興費	400	農産園芸課
		林業費	9,680	森林経営課
		小計	10,080	
商工費	工鉦業費	中小企業振興費	168,080	かごしまPR課
			86,440	産業立地課
		工業技術センター費	282,733,548	産業立地課
		小計	282,988,068	
合	計		282,998,148	(人件費及び本課執行分を含まず)

1-6-3 補助事業等

(単位：千円)

区分	補助事業等の名称	事業名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備考
受託	戦略的基盤高度化支援事業(サポイン事業) (中小企業庁)	蓄熱・放熱機能付環境対応型塗壁材の開発	200	1/1	200	27. 4. 1	
〃	新技術及び新商品開発に係るプロジェクト (日本酒造組合中央会)	複数酵母を用いた混合醸造による酒質の個性化技術の確立	900	1/1	900	27. 4. 1	
〃	戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業 (国立研究法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)	公募提案型受託研究事業 「水熱処理とゼオライト触媒反応による高品質バイオ燃料製造プロセスの研究開発」	5,607	1/1	5,607	27. 4. 1	
〃	公益財団法人サンケイ科学振興財団	シラスバルーンを活用した鶏糞発酵促進資材の開発	300	1/1	300	27. 4. 1	
〃	公益財団法人天田財団一般研究開発助成事業	金属/セラミックスの異材レーザーブレイジングにおける活性金属ろう材酸化挙動の解明	0	1/1	0	27. 4. 1	
〃	戦略的基盤高度化支援事業(サポイン事業) (中小企業庁)	軽量化自動車部材の低コスト・高品質加工を実現する次世代鍛造法の開発	8,246	1/1	8,246	27. 4. 13	
〃	国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) マッチングプランナープログラム「探索試験」	クエン酸発酵残渣からの機能性糖類の生産	1,169	1/1	1,169	27. 10. 1	
〃	国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) マッチングプランナープログラム「探索試験」	レーザー急速加熱環境下におけるセラミックスと低融点ろう材のぬれ挙動解明	690	1/1	690	27. 10. 1	
〃	国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) マッチングプランナープログラム「探索試験」	理論的解析に基づく算出誤差領域マーキング法を用いた静電気放電発生箇所可視化技術の開発	49	1/1	49	28. 2. 1	
	合	計	17,161		17,161		

1-6-4 検査・監査等

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職・氏名	備 考
委員監査	平成28年 1月12日	平成26年度	監査委員 橋口和博 監査委員 園田豊 監査委員事務局 局長 森秀樹 監査第二課 宮路俊雄	
職員監査	平成27年11月 9日	平成26年度	監査委員事務局 今村和憲, 宮路俊雄, 蒲ヶ原哲子	

1-7 会議等への参加

(件数)

部 名 項 目	庶 務 部	企 画 支 援 部	企 画 支 援 部 奄 美 市 駐 在	食 品 ・ 化 学 部	生 産 技 術 部	地 域 資 源 部	シ ラ ス 研 究 開 発 室	合 計
試験研究機関連絡会議	7	9	1	6	5	6	4	38
学 会	0	2	0	7	9	2	1	21
研 究 会 ・ 講 習 会	10	47	1	33	46	9	11	157
そ の 他	17	7	3	8	14	12	3	64

*庶務部は所長, 副所長を含む

1-8 設 備

平成27年度に整備した機器(重要物品)は, 以下のとおりである。(6機種)

部 名	機 器 名	型 式	メ ー カ ー 名	備 考
生産技術部	側方照射型軟X線装置	ScanXmate-D130SS105Dual	コムスキャンテクノ(株)	JKA補
生産技術部	3次元造形装置	PiCO	(株)システムクリエイト	受 託
シラス研究開発室	2段式エアテーブル	比重差選別機	原田産業(株)	
シラス研究開発室	ローラミル粉砕装置	IS-150 ミル	IHIプラントエンジニアリング(株)	
シラス研究開発室	ローラミル分級装置	IS-150 セパレータ	IHIプラントエンジニアリング(株)	
シラス研究開発室	蒸気吸着測定装置	Vstar2-WRT-kgs	カンタクローム・インスツルメンツ社	

- (注) 国 補: 国の補助を受けて購入したもの
 JKA補: JKA補助金((公財)JKAからの交付)により購入したもの
 受 託: 中小企業庁などからの受託事業で購入したもの
 借 受: 国の補助金により借受したもの